



2015年3月期 第3四半期 連結決算概況

マルハニチロ株式会社



1. 連結損益計算書

(単位: 億円)

	第3Q実績	前年同期	増減	年間計画	進捗率
売上高	6,679	6,585	94	8,500	79%
売上原価	5,850	5,706	144		
売上総利益	829	879	△ 50		
販売費・一般管理費	732	755	△ 23		
営業利益	98	124	△ 26	110	89%
営業外収益	60	55	6		
営業外費用	37	26	10		
経常利益	121	152	△ 31	100	121%
特別利益	3	12	△ 9		
特別損失	4	54	△ 50		
税金等調整前四半期純利益	120	110	10		
法人税等	10	41	△ 31		
少数株主利益	22	8	14		
四半期純利益	88	62	26	100	88%

当社グループは、中期4ヵ年経営計画「Challenge toward 2017」で掲げた信頼回復と成長戦略の遂行に向け取り組んでいます。

当該期間の実績は、前年対比で売上高は1%の増加。原料価格の高騰等に伴い営業利益は21%減少、経常利益も同様に20%の減少となりました。純利益は、製品回収費用などを特別損失に計上した前期に比べ43%増加の88億円となり、修正後の年間計画100億円に対し88%の進捗となりました。

マルハニチロ株式会社

2. 連結貸借対照表

(単位: 億円)

	第3Q実績	14年3月末	増減		第3Q実績	14年3月末	増減
流動資産	3,275	2,599	676	流動負債	3,024	2,441	583
現預金	149	140	9	仕入債務	457	292	166
売上債権	1,428	982	446	短期借入金	2,133	1,788	344
有価証券	0	0	△ 0	その他	434	361	73
たな卸資産	1,553	1,343	210	固定負債	1,445	1,403	42
短期貸付金	9	9	△ 1	長期借入金	1,127	1,116	10
繰延税金資産	30	31	△ 1	その他	319	287	32
貸倒引当金	△ 9	△ 7	△ 2	負債合計	4,469	3,844	625
その他	116	102	14	株主資本	801	759	43
固定資産	2,235	2,153	83	資本金	200	150	50
有形固定資産	1,410	1,385	25	剰余金	601	609	△ 8
無形固定資産	273	223	50	自己株式	△ 0	△ 1	1
(内 のれん)	147	151	△ 4	その他の包括利益累計額	44	12	32
投資その他資産	553	545	8	少数株主持分	197	138	59
				純資産合計	1,042	909	134
資産合計	5,511	4,752	759	負債純資産合計	5,511	4,752	759

総資産は主として売上債権及びたな卸資産の増加、子会社化した豪州漁業会社の漁業許可権利金の計上などにより、前連結会計年度末から759億円増加しました。

負債総額は仕入債務及び借入金の増加により、625億円増となりました。

3. ユニット別実績

(単位:億円)

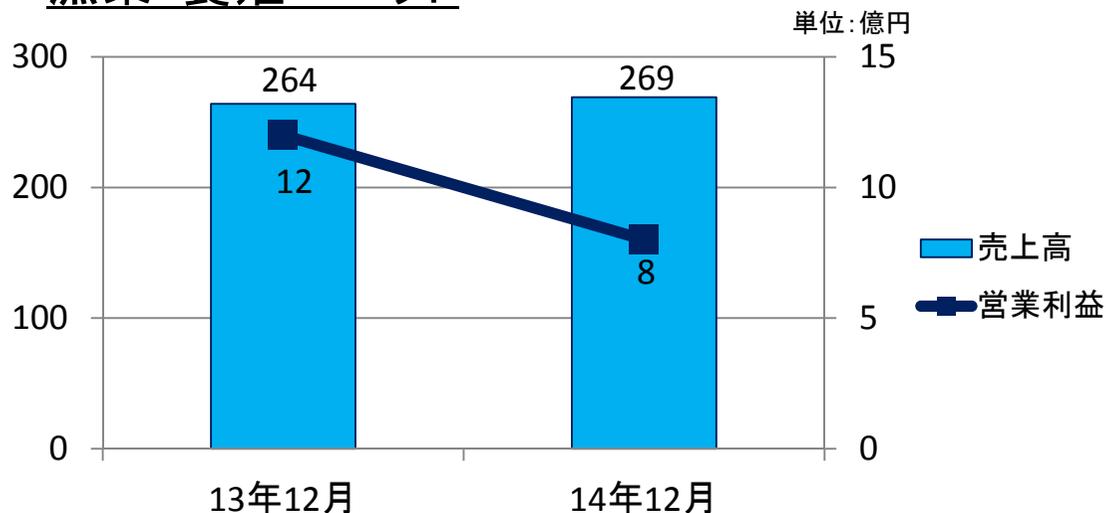
	売 上 高					営 業 利 益				
	第3Q実績	前年同期	増 減	年間計画	進捗率	第3Q実績	前年同期	増 減	年間計画	進捗率
漁業・養殖ユニット	269	264	5	356	76%	8	12	△ 3	18	47%
水産商事ユニット	592	593	△ 1	640	92%	22	32	△ 10	21	105%
荷受ユニット	1,976	2,067	△ 91	2,697	73%	13	11	3	6	220%
畜産商事ユニット	415	341	73	462	90%	5	1	4	3	160%
戦略販売ユニット	574	530	44	663	87%	6	4	2	2	325%
海外ユニット	375	312	63	438	86%	27	4	23	9	302%
北米ユニット	719	574	145	857	84%	△ 0	6	△ 6	14	-
冷凍食品ユニット	1,119	1,214	△ 94	1,475	76%	△ 7	22	△ 29	5	-
加工食品ユニット	454	500	△ 45	661	69%	1	10	△ 8	12	12%
化成ユニット	33	30	3	46	72%	4	5	△ 1	5	81%
物流ユニット	115	113	2	155	74%	9	9	0	10	91%
その他	39	48	△ 9	50	78%	7	6	1	5	146%
全社	-	-	0	-	-	1	3	△ 3	-	-
合 計	6,679	6,585	94	8,500	79%	98	124	△ 26	110	89%

※前年数値は、ユニット組み替え後の数値となっております。

3. ユニット別実績(漁業養殖・水産商事)

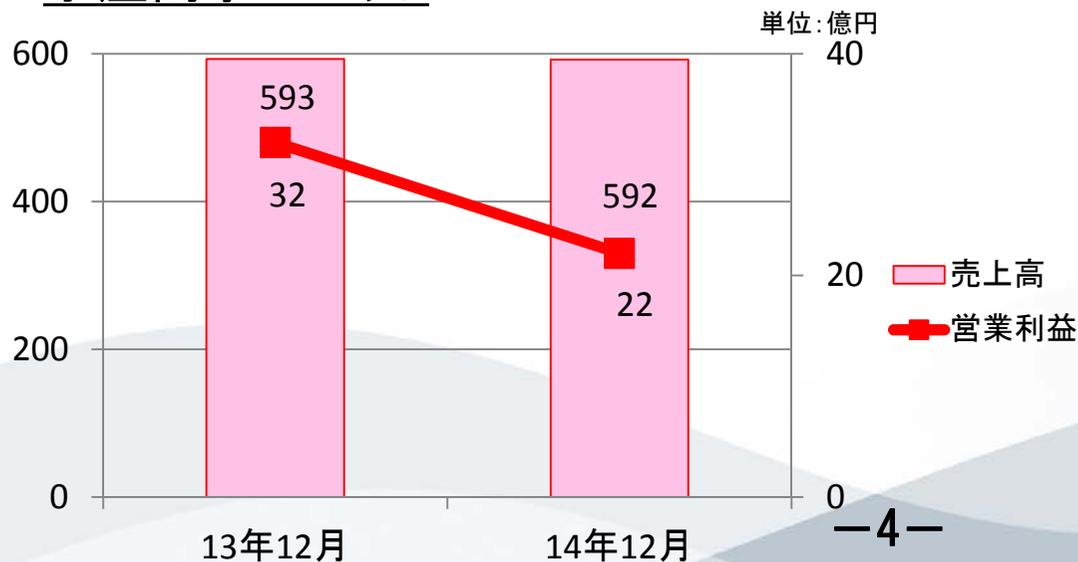


漁業・養殖ユニット



漁業は海外まき網が単価下落、不漁により不振。
養殖はカンパチ・ブリの価格が堅調に推移。増収減益。

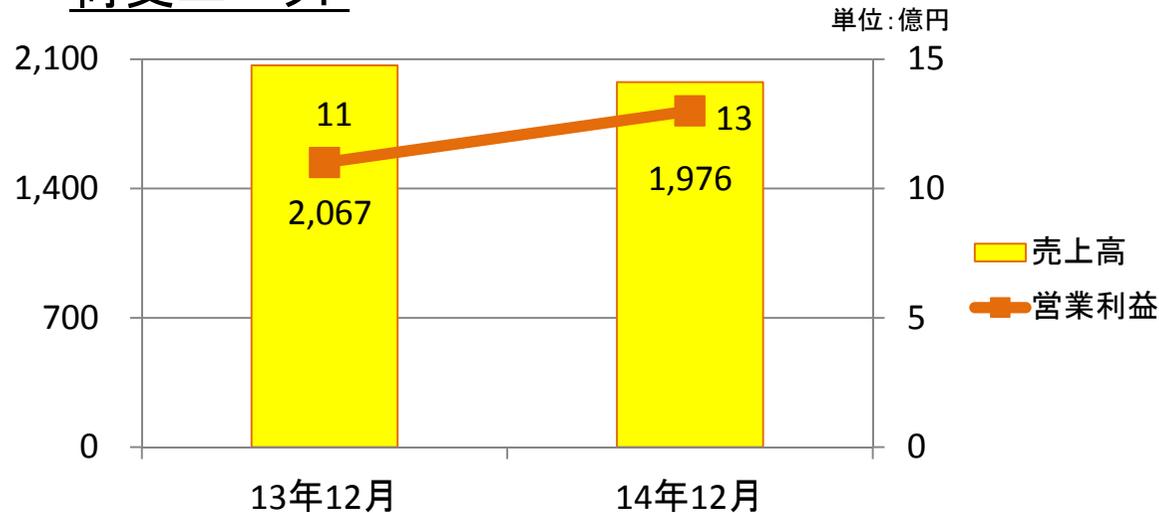
水産商事ユニット



円安、海外相場の上昇により各商材の高値が続いた結果需要が落ち込み、減収減益。

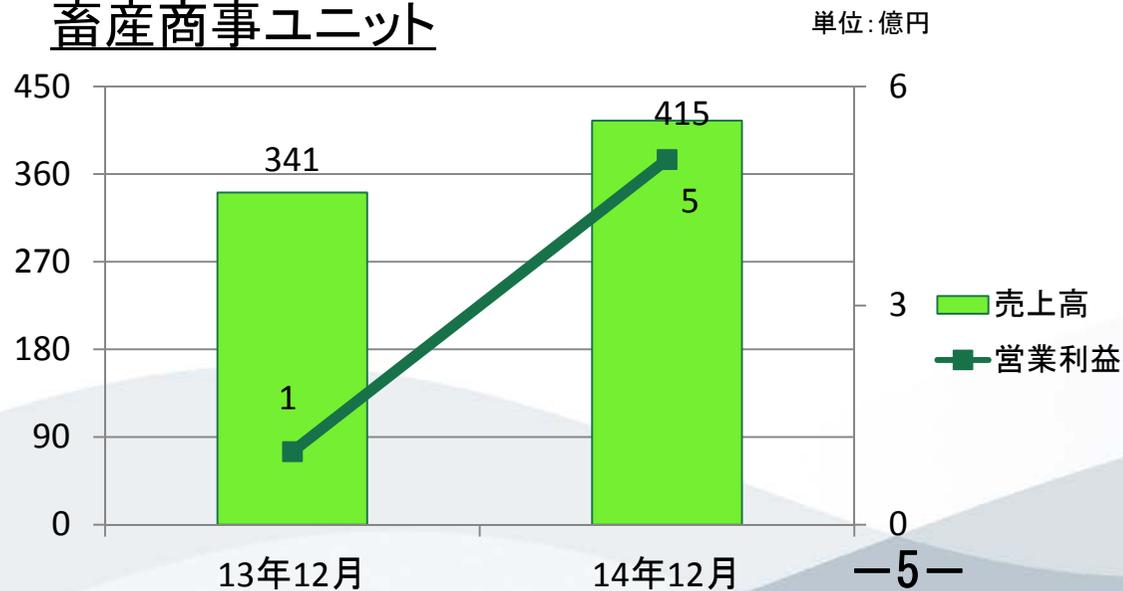
3. ユニット別実績(荷受・畜産商事)

荷受ユニット



市場内流通の縮小および前期末子会社の持分譲渡による連結除外のため減収も、鮮魚の歩率改善及び経費削減等により増益。

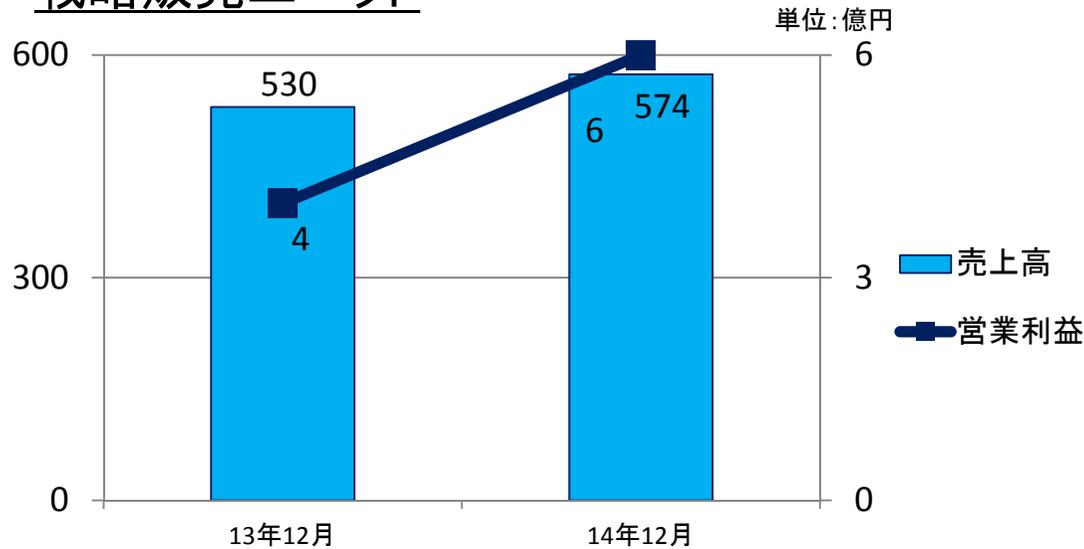
畜産商事ユニット



販売数量の増加や、食肉全般における販売価格の引き上げにより、増収増益。

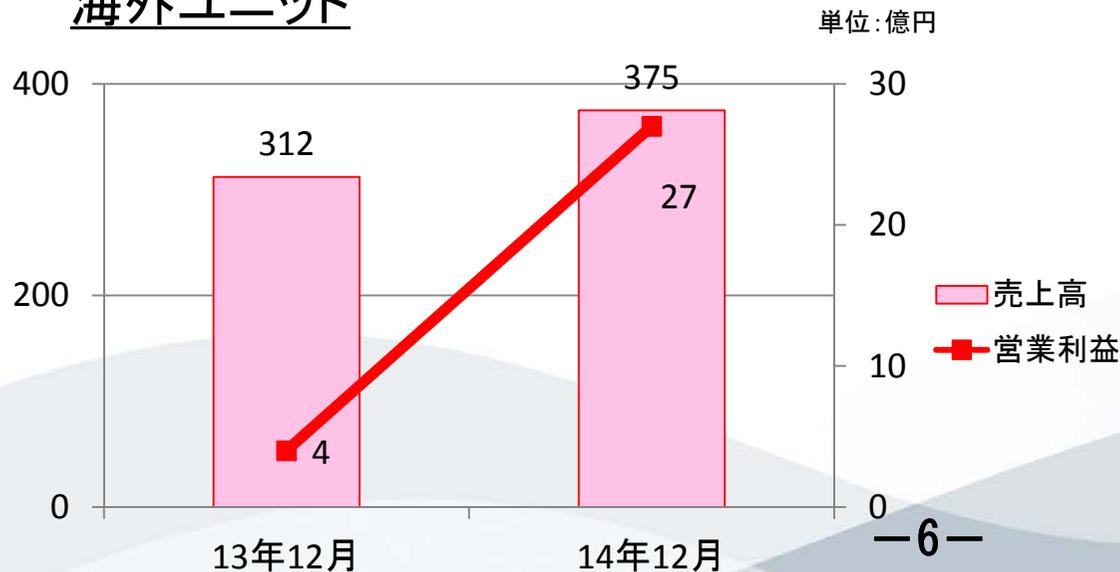
3. ユニット別実績(戦略販売・海外)

戦略販売ユニット



鮭鱒、エビ、ホタテなど主要魚種の原料価格高騰が続くも、加工の高度化、年末商材の販売好調により、増収増益。

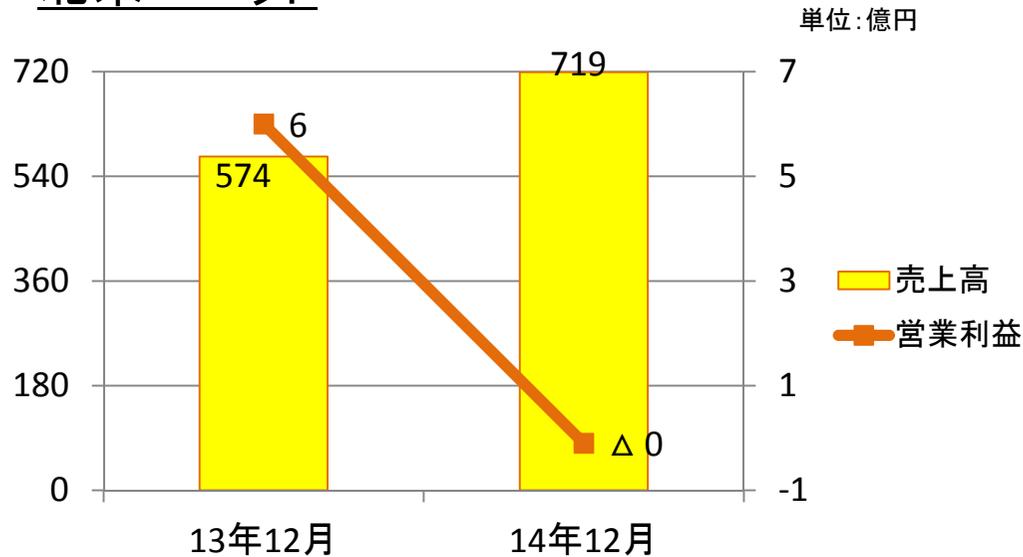
海外ユニット



水産原料の日本からの輸出増加、タイ製造の欧米向けペットフードが販売好調、子会社化した豪州漁業会社の業績貢献により、大幅な増収増益。

3. ユニット別実績(北米・冷凍食品)

北米ユニット



欧州水産物販売会社の堅調な販売、助子販売増、すりみ単価上昇により増収。円安による対日輸入コスト増加、米国産缶詰の相場下落、鱒の卵の販売減少等により減益。

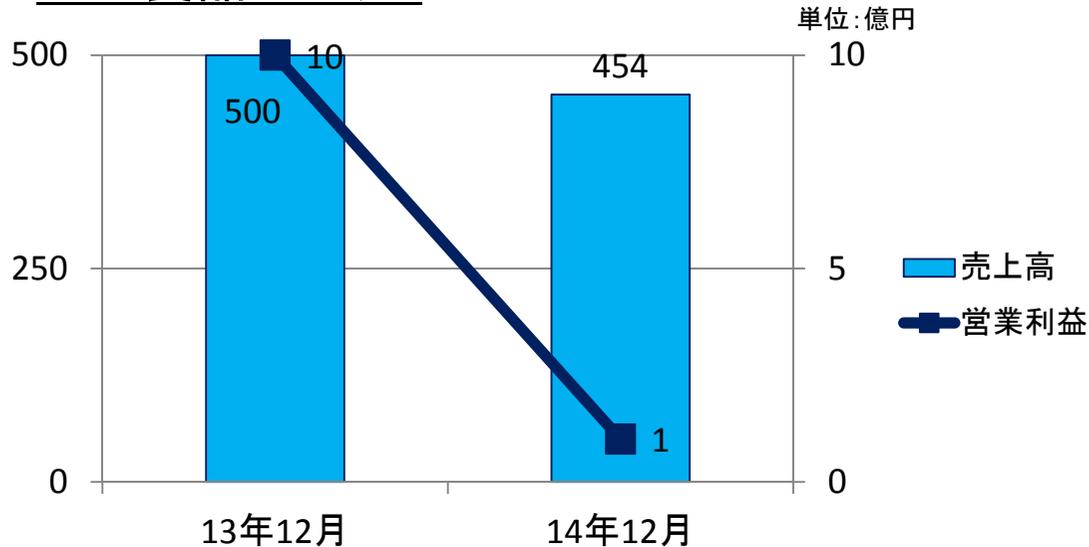
冷凍食品ユニット



市販用新商品が販売好調なるも、アクリ農薬事件の影響及び円安による原材料や海外生産品のコスト増により、減収減益。

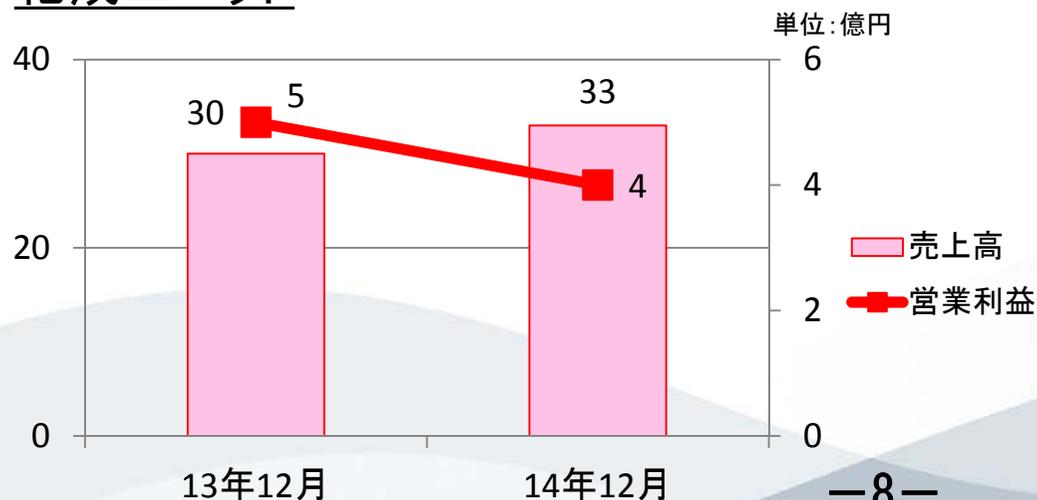
3. ユニット別実績(加工食品・化成)

加工食品ユニット



水産原料高騰による生産コスト増、缶詰値上げによる売上数量減少、デザート類の商品回収、販売不振等により、減収減益。

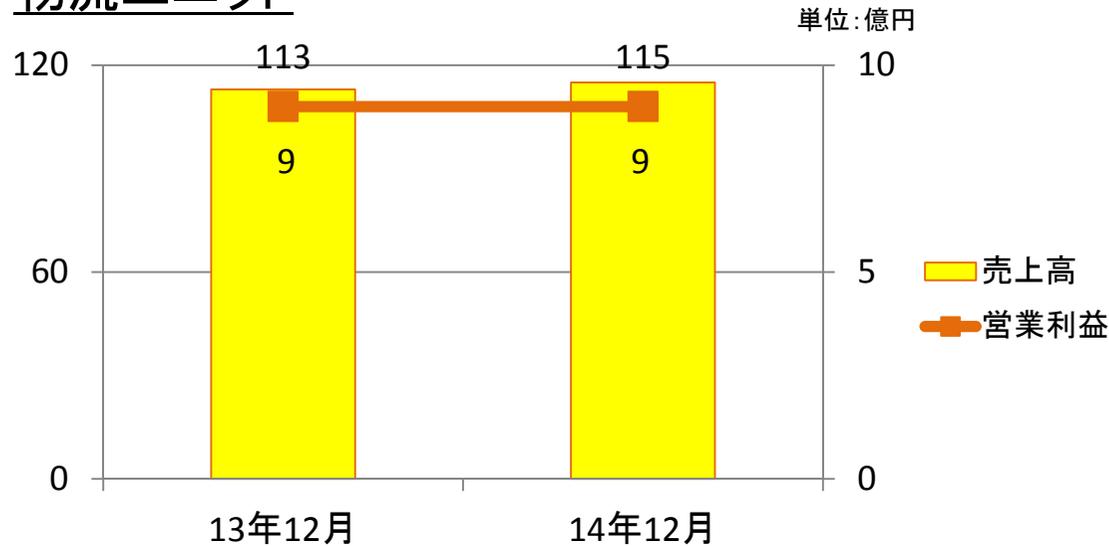
化成ユニット



医薬品用コンドロイチン及びDHA・EPAの販売好調により増収。円安による原料価格の高騰により減益。

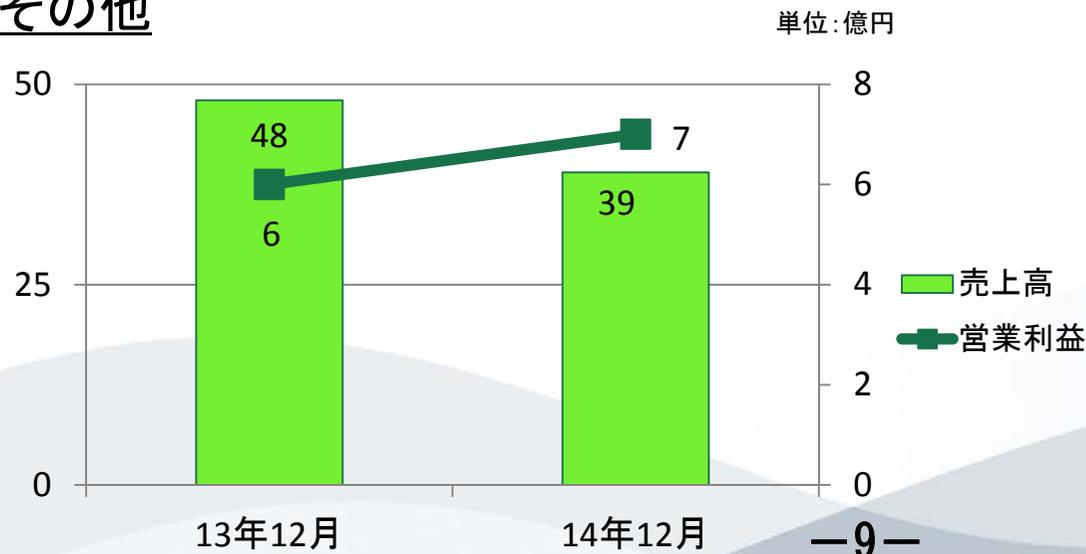
3. ユニット別実績(物流・その他)

物流ユニット



新設冷蔵庫稼働等による償却負担増加、電力料金値上げにより動力費増加も、在庫数量が在庫数量を上回ったこと及び輸配送事業が伸長し、増収。

その他



飲料製造子会社の売却により減収。

世界に美味しいしあわせを

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料は著作権やその他本書類にかかる一切の権利はマルハニチロ株式会社に属します。

MARUHA NICHIRO